InfoCom Research, Inc. 株式会社情報通信総合研究所

モバイルフォーラム2016　基調講演資料

海外MVNO市場から国内MVNO市場を考える

2016年3月16日

株式会社情報通信総合研究所
ICT基盤研究部

岸田　重行

本日の資料は、以下の構成となっております。

（１）海外MVNO動向

（２）MWCに見る海外動向

（３）国内MVNO市場の今後

（１）海外MVNO動向

（２）MWCに見る海外動向

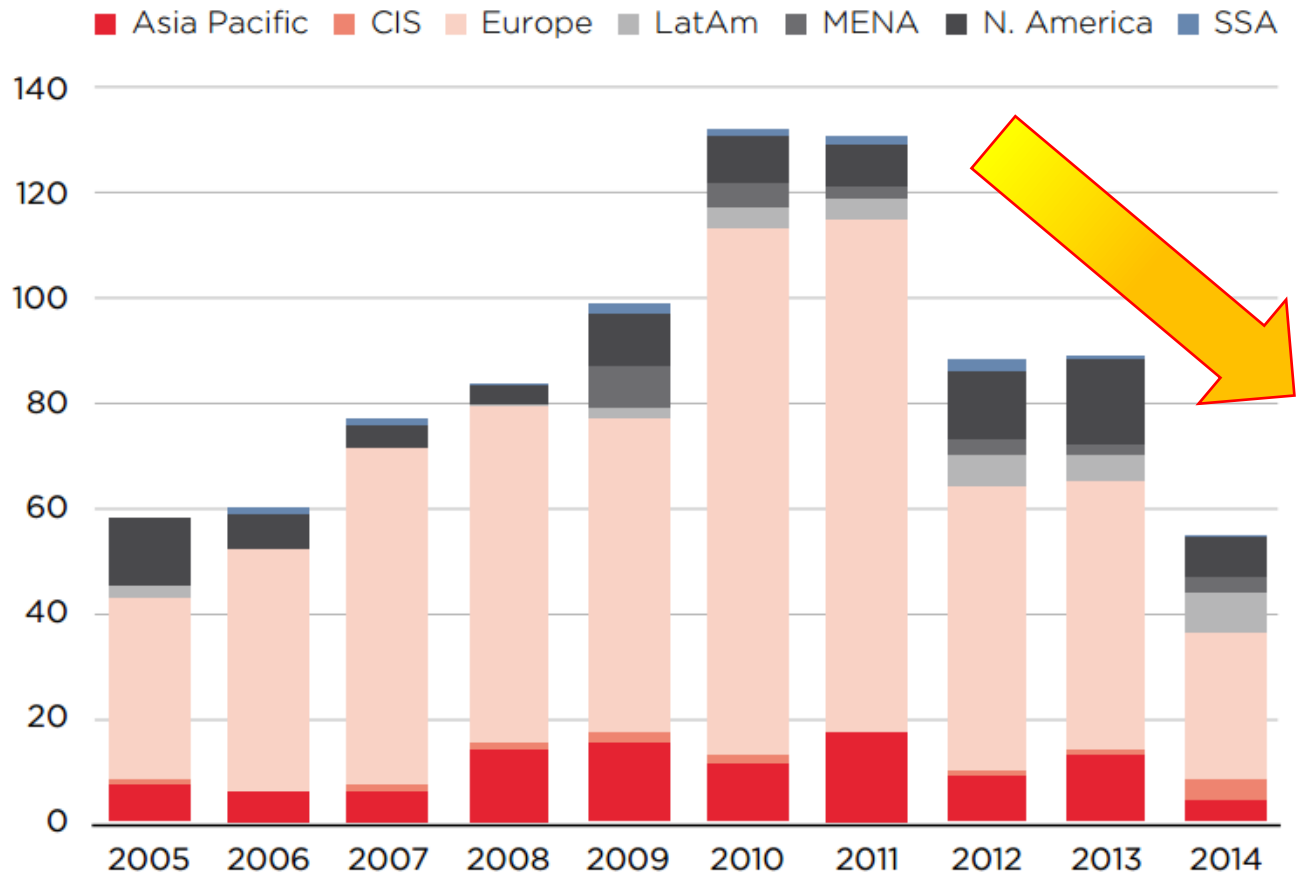
（３）国内MVNO市場の今後

InfoCom Research, Inc.

世界のMVNO概況（１）　新規参入

■　世界のMVNOの新規参入の動きは、2010-11年をピークに鈍化傾向にある。

世界のMVNO新規参入事業者数

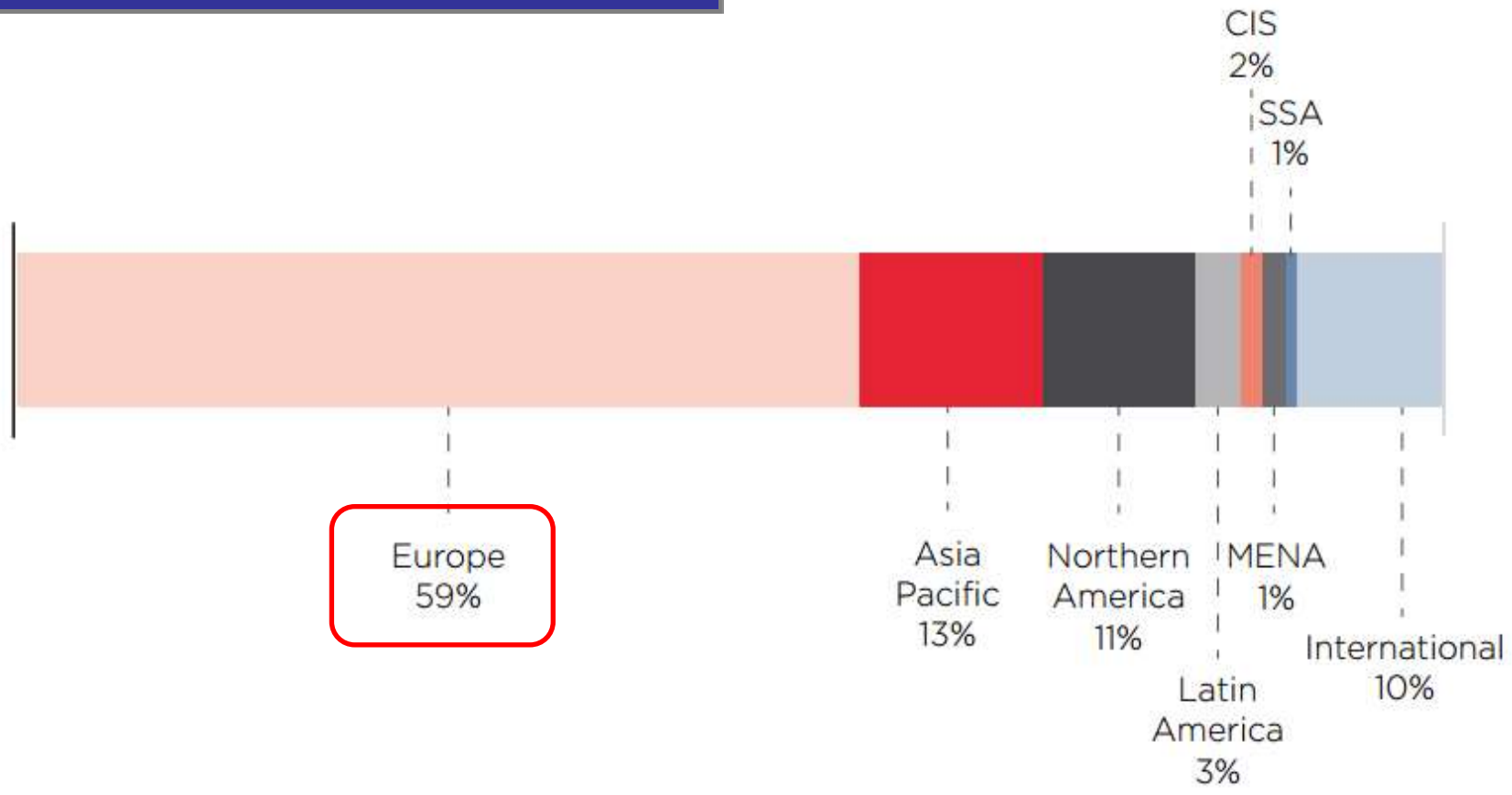


（出典：「The global MVNO footprint: a changing environment」GSMA Intelligence、2015.2）

世界のMVNO概況（２）　地域別比率

■　世界のMVNO事業者数を地域別に見ると、大半は欧州に集中している。

世界のMVNO事業者　地域別比率（2014年末）

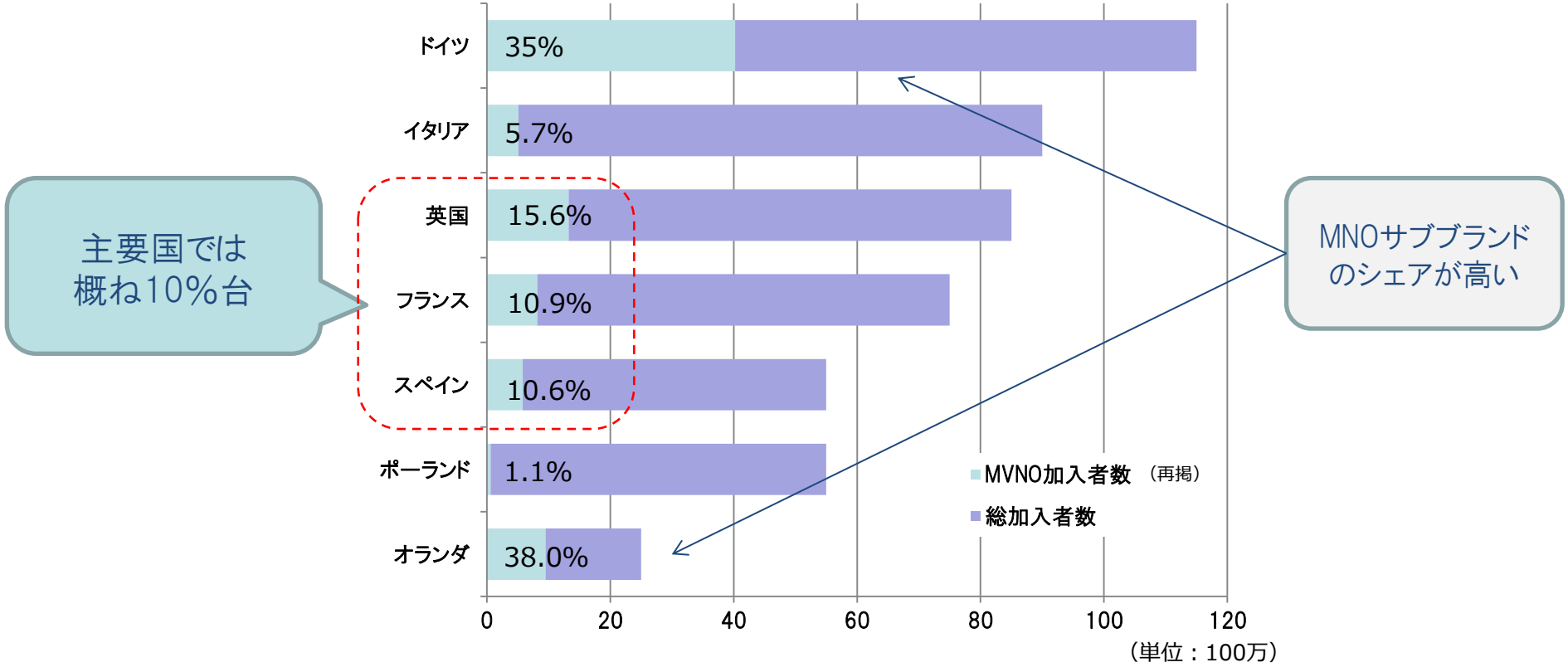


（出典：「The global MVNO footprint: a changing environment」GSMA Intelligence、2015.2）

世界のMVNO概況（３）　欧州主要国

- 欧州主要国のMVNO市場シェアは、概ね10%台。
- ドイツ、オランダが高い（30%以上）のは、MNOのサブブランドの存在感が大きいため。

欧州主要国のMVNO市場シェア（mid-2013）

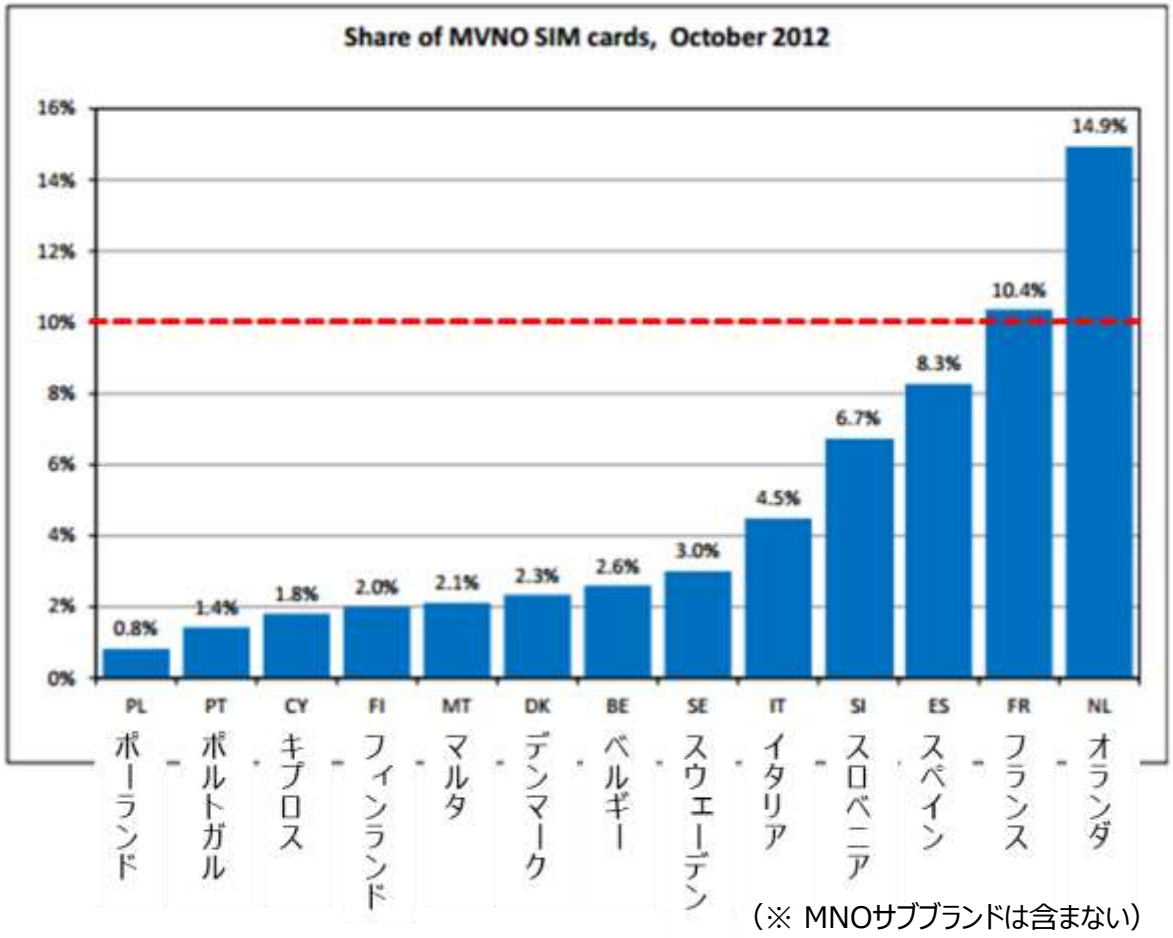


（出典：「MVNO OBSERVATORY Annual Report on the UK Market」Piran Partners、2014春）

世界のMVNO概況（４）　欧州各国

■　欧州の主要国以外でのMVNO市場シェアは、ほとんどの国で1桁%である。

欧州各国におけるMVNO市場シェア（2012年10月）



（※ MNOサブブランドは含まない）

「・・・ MVNOは、欧州モバイル市場において殆どシェアが取れていない。・・・」

『In general, **MVNOs have not yet managed to have a significant share in European mobile markets.** MVNOs are defined as operators with their own SIM cards and own mobile network code but without any mobile telecommunications network infrastructure.
Operators that fulfill the above two conditions, but are majority owned (more than 50%) by any of the Mobile Network Operators operating in the same national market are not included (e.g. operators being only a sub-brand of a Mobile Network Operator).
The aggregate market share of all MVNOs passed the 10% threshold only in two Member States (The Netherlands at 14.9% and France at 10.4%). **In most of the Member States, MVNOs either do not exist or remain marginal**.』

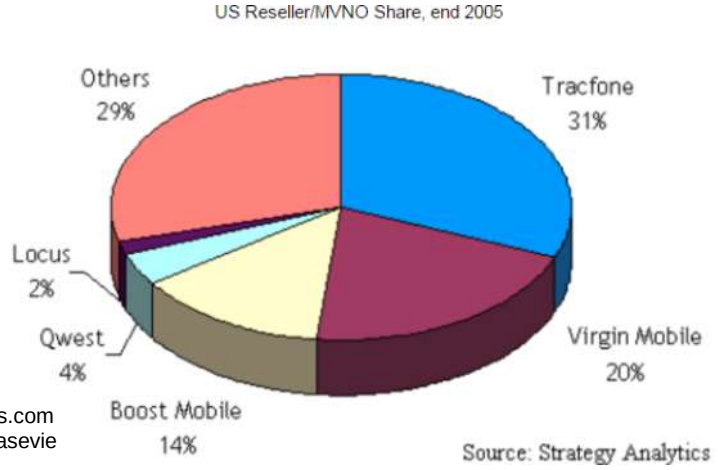
「・・・大半のメンバー国では、MVNOが全く、もしくは殆ど存在しない」

（出典：「Digital Agenda Scoreboard 2013」欧州委員会、2013.12）

世界のMVNO概況（５）　米国

- 米国では現在、大型MVNO 3社が市場での存在感を見せている。
- 2006年頃に、付加価値型MVNOの参入ブームがあったものの、大半が早期に撤退した。

成功事例



https://www4.strategyanalytics.com/default.aspx?mod=pressreleaseviewer&a0=3021

Tracfone
メキシコのAmerica Movilによる米国参入。
2000年にサービス開始。ヒスパニック層をターゲット。
契約数は2570万（2015年3月末）

Boost Mobile
豪MVNOのBoost Mobileによる米国参入。2001年にサービス開始、当時Nextelとの合弁。若年層、黒人層をターゲット。
Sprintによる2006年Nextel買収と同時にサブブランド化。

Virgin Mobile
英国Virgin Groupによる各国展開。米国ではSprintとの合弁で2002年にサービス開始。
2008年、MVNOのHelioを買収。
Sprintが2009年に買収、サブブランド化。

失敗事例

Disney Mobile
ディズニーによるMVNO参入。2006年6月にサービス開始、2007年12月にサービス停止。

ESPN Mobile
スポーツ系放送のESPNによるMVNO参入。
2006年2月にサービス開始、9月に撤退を発表。

Voce
日本のモバイルCPのフェイスによるMVNO参入。
2005年にサービス開始。高所得者層をターゲット、コンシェルジュサービスが特徴。2008年2月にサービス停止。

Helio
韓国SKテレコムと米ISPのEarthLinkの合弁によるMVNO参入。2006年にサービス開始。テックマニア層をターゲット。大手SNSのMySpaceとの連携が特徴。EarthLinkの事業撤退を経て、2008年にVirginMobileUSAが買収。

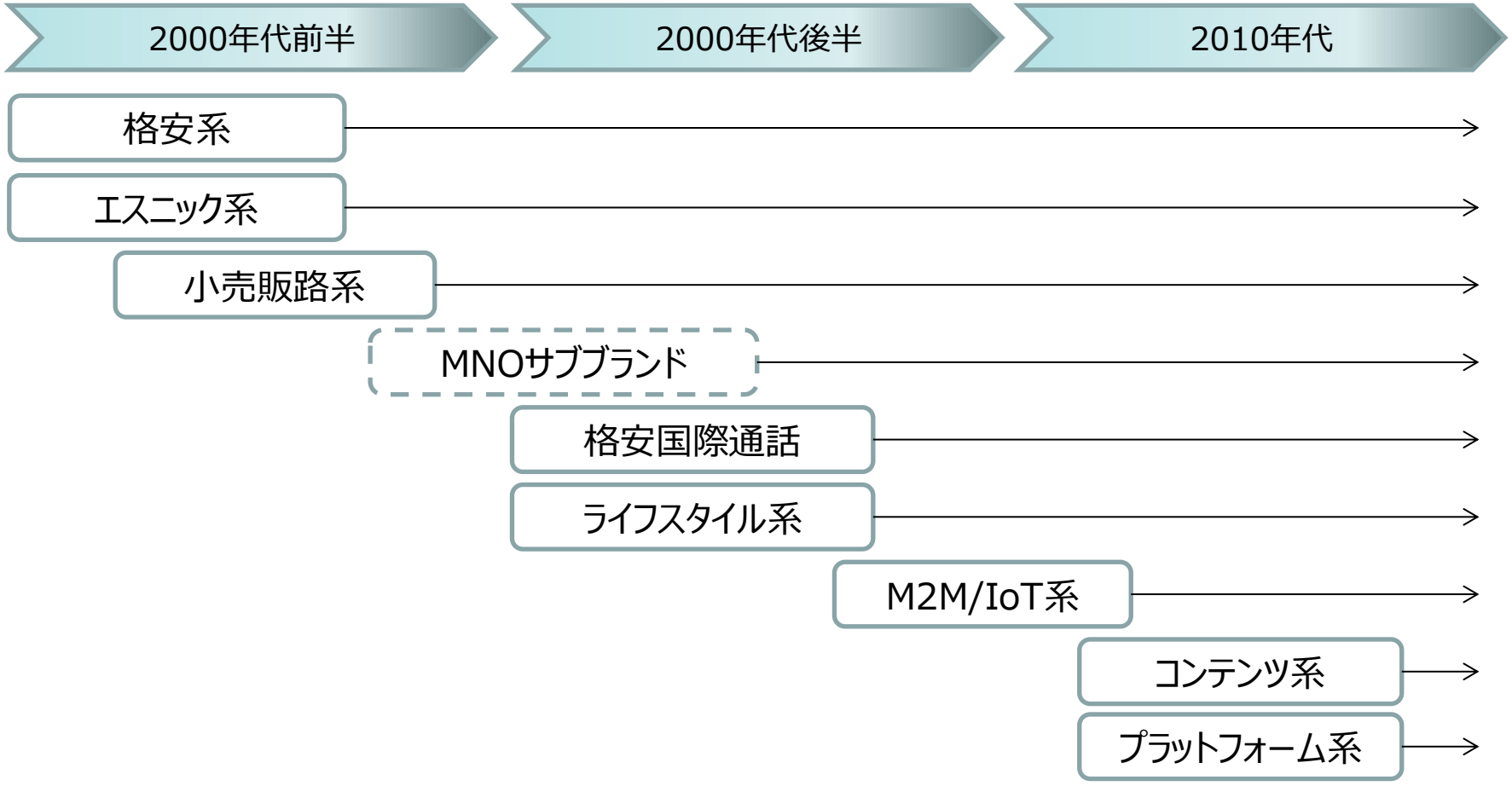
欧米はMVNO先進地域であるが、
国によってMVNOの存在感に
かなり大きな差がみられる。

MVNOの普及には、
一定の市場規模が必要と考えられるが、

市場規模からいえば、日本はMVNO普及に
十分な環境だと言える。

海外MVNOの類型

- 海外MVNOのほとんどは、MNOよりも「割安」であることをアピールしている。
- 「エスニック系」「ライフスタイル系」等の特徴的なMVNOは2000年代前半に登場している。
- 近年も、MVNOに新しい動きがみられる。



（情総研による分類）

Simyo （ドイツ）

- 独Simyoは、独MNOであるTelefonicaによるサブブランド。
- プリペイドSIMのオンライン販売専業。

Simyo

サービス開始	2005年
運営会社	E-プルス→Telefonica Germany（Telefonica Germany（ブランド名O2）がE-プルスを買収したため）
ホストMNO	E-プルス→Telefonica Germany
サービスの特徴	・安価な料金プランを設定。 最もシンプルなプランでは、月額料金を設定せず、通話料金のみが発生する料金プランも提供。

主な料金プラン

Turkcell Europe （ドイツ）

- Turkcell Europeは在独トルコ人向けのサービスを提供。トルコのMNO、Turkcellの子会社。
- 同社はこの事業をドイツ・テレコムに譲渡、2015年1月からドイツ・テレコムのサブブランドに。

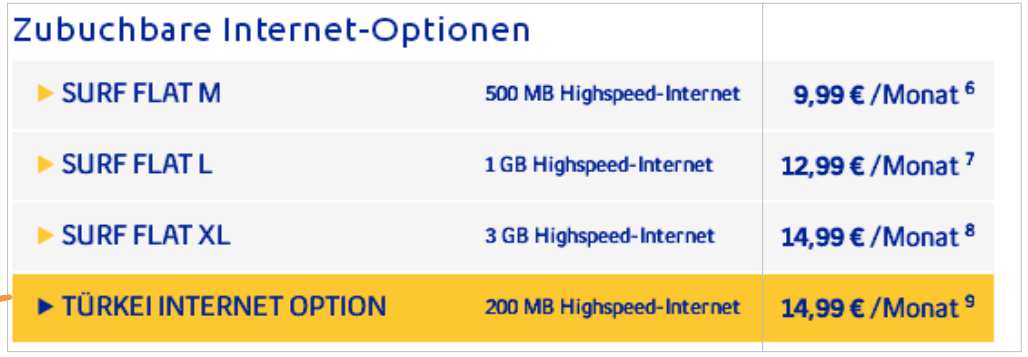
Turkcell Europe

サービス開始	2011年
運営会社	Turkcell Europe → ドイツテレコム
ホストMNO	ドイツテレコム (T-Mobile)
サービスの特徴	・ドイツ・トルコ両国で使用できるプリペイドSIM、トルコでのモバイルインターネット利用などをアピール ・約350万加入（2014年9月）

日本でのデータパケット料金と
比較すると割高

主な料金プラン

【インターネットオプション】



Tesco Mobile （英国）

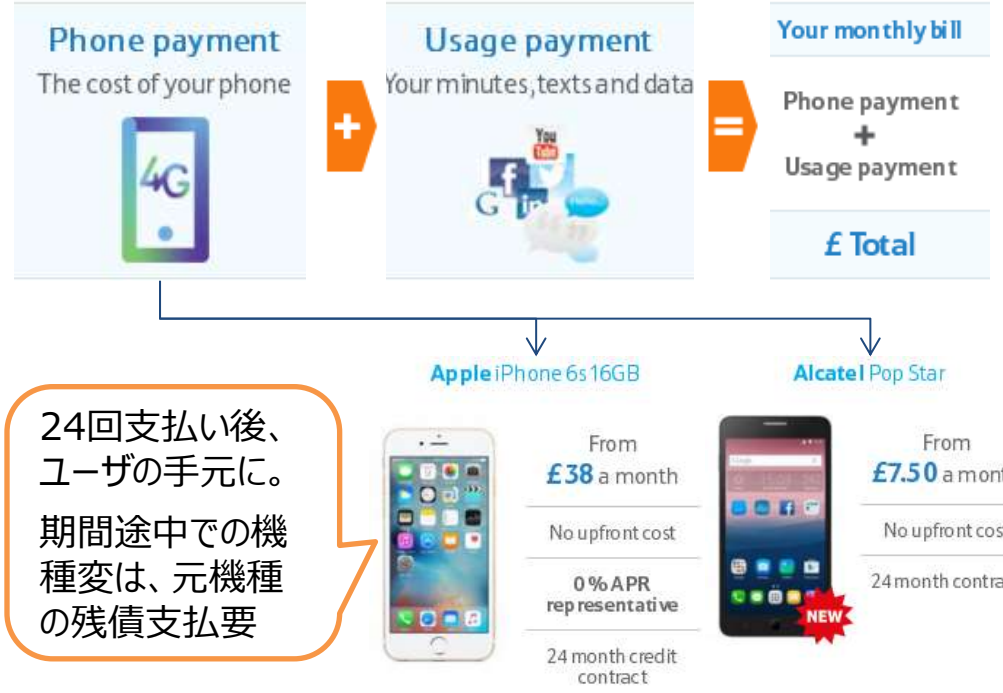
- 英国でスーパーマーケットなどの小売業を営む大手Tescoが提供するMVNOサービス。
- 主要機種を利用者の望むタイミングで機種変できる「Anytime Upgrade」プランを提供。

Tesco Mobile

サービス開始	2003年
運営会社	Tesco
ホストMNO	O2
サービスの特徴	・「Anytime Upgrade」プランでは、主要機種を利用者の望むタイミングで機種変できる（残債支払要） ・Pay Monthlyプラン、SIMのみのプラン、Pay as you goプラン（プリペイドプラン）など幅広い料金が準備されている。

料金プラン等

【Anytime Upgrade】（端末交換可能プラン）
端末利用（24回払い）と利用契約を区別



【ワンオフ・データバンドル】（料金月内での追加・使いきり）
250MB - £3.00　500MB - £5.00　1GB - £7.50

InfoCom Research, Inc.

Project Fi（米Google）

- 2015年春より、GoogleはMVNOサービス「Project Fi」を米国で開始。
- 対応端末は「Nexus」シリーズのみ。2015年12月、セルラー対応タブレットも対象に。

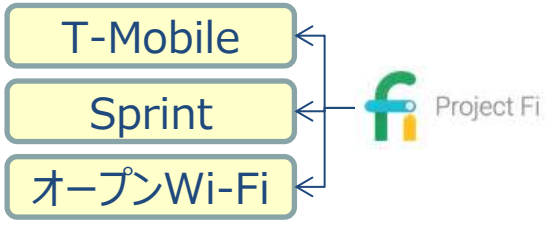
Project Fiの概要

サービス開始	2015年7月
運営会社	Google
ホストMNO	T-Mobile US、Sprint
サービスの特徴	・セルラー網（T-Mobile US、Sprint）と公衆Wi-Fiを活用したサービス提供。 ・ユーザのいる場所に応じて最適な（電波が強く安定した）通信手段が自動選択される。 ・開始当初、対応スマホはNexus6のみ。後発のNexus5X、6Pも対応。 ・マルチデバイス対応（Project Fiで利用する電話番号での通話、SMS、留守番電話等のサービスは、PC・タブレットでも利用可能）。 ・Wi-Fi利用時はVPN機能を活用。 ・2016年3月、招待制から一般申込制へ。

料金プラン等

プラン名	月額基本料	データ通信料	通話	SMS
Fi Basics	20ドル	10ドル/GB	国内無制限	無制限
備考	長期契約不要	•Wi-Fi利用分はカウント対象外 •海外も同レート適用（120カ国以上、3G上限256kbos） •余ったデータ量は相当分を翌月割引	海外通話は別料金	海外とのSMSも含む

＜マルチネットワーク利用イメージ＞



＜Wi-Fi利用時の暗号化アイコン＞

出典：https://fi.google.com/

Snail Mobile（中国）

■ 中国MVNO市場で最大の加入者シェアを獲得しているのがSnail Mobile。
■ 本業はゲーム会社（Snail Games）。世界一のMVNOを目指すとしている。

Snail Mobile

サービス開始	2014年7月
運営会社	Suzhou Snail Digital Technology Company　（通称Snail Games）
ホストMNO	中国移動、中国聯通
サービスの特徴	・デジタルゲーム・プロバイダーSnail GamesによるMVNO参入。ゲーム利用者へ「無料」を謳ったSIMを提供、中国MVNO市場シェア首位（400万加入規模と推計） ・中国で投入済のゲームコンソール型スマートフォン「W3D」を海外展開（2015年9月） ・海外渡航する中国人、海外からの渡航者向けのSIMプランを展開（2015年7月）

料金プラン等

利用金額　国内発信（元/分）　国内データ（元/MB）　国内SMS（元/通）　発ID通知（5元/30日）　国内受信

消费阶梯区间 (元)	国内主叫语音 (元)	国内流量 (元)	国内短信 (元)	来电显示	国内接听
0—10	0.15	0.15	0.10	5元/30天	免费
10—30	0.12	0.14	0.09		
30—60	0.10	0.13	0.08		
60以上	0.09	0.12	0.07		

Snail Mobile W3D Gaming Phone
（出所：amazon.com、
399.99米ドルで予約受付開始
→受付停止中（2016.3））

•Snail Games提供のゲームのダウンロードには通信料がかからない

•ゲーム利用で貯めたポイントを通信料に充当可能

海外のMVNOには、
MNOとの差異化を図るべく
特徴的なサービスを提供する例が多くある。

利用者への付加価値提供に工夫を凝らした
MVNOは、今後も各国で登場してきて不思
議ない。

（１）海外MVNO動向

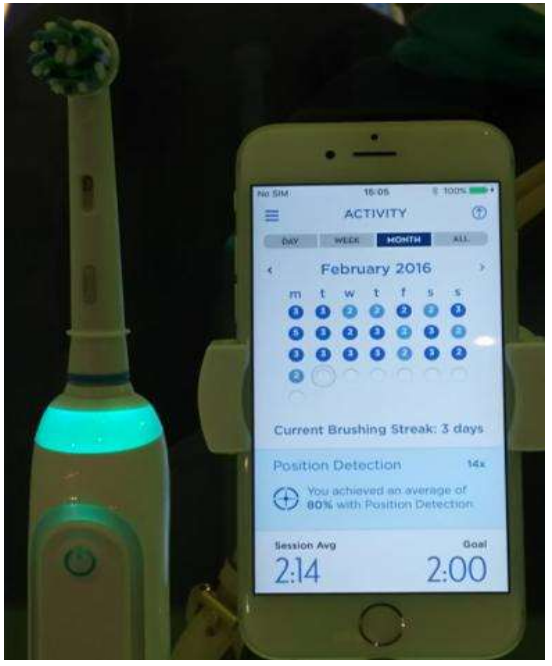
（２）MWCに見る海外動向

（３）国内MVNO市場の今後

Mobile World Congress 2016 会場風景

（情総研撮影）

Mobile World Congress 2016 会場風景



（情総研撮影）

MWC2016のメインテーマ

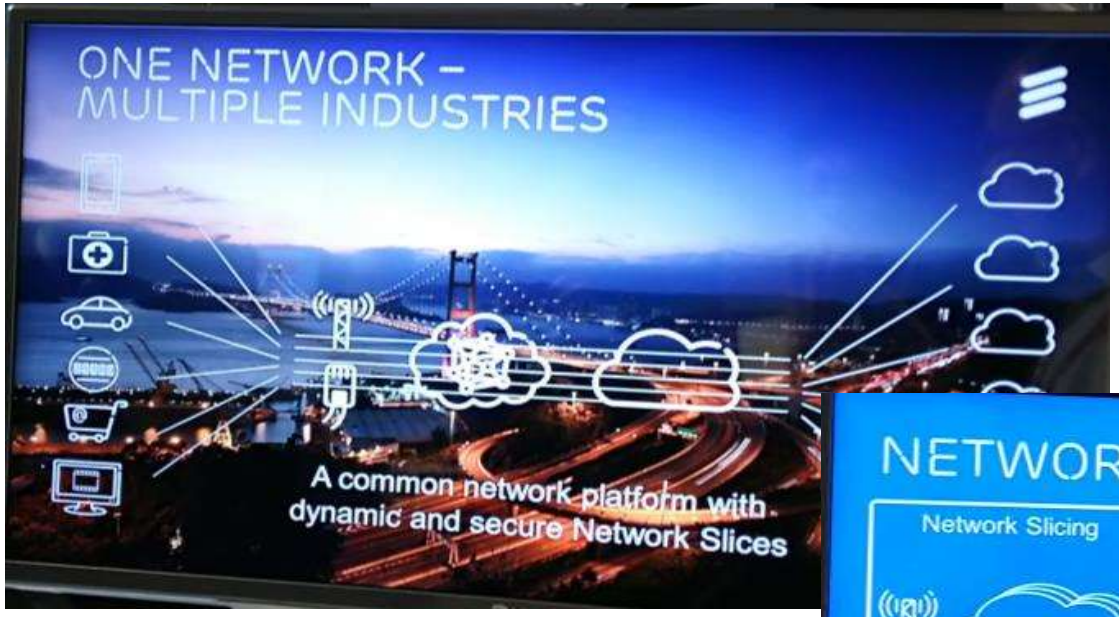
■ MWC2016のメインテーマは「IoTへの対応」であった。

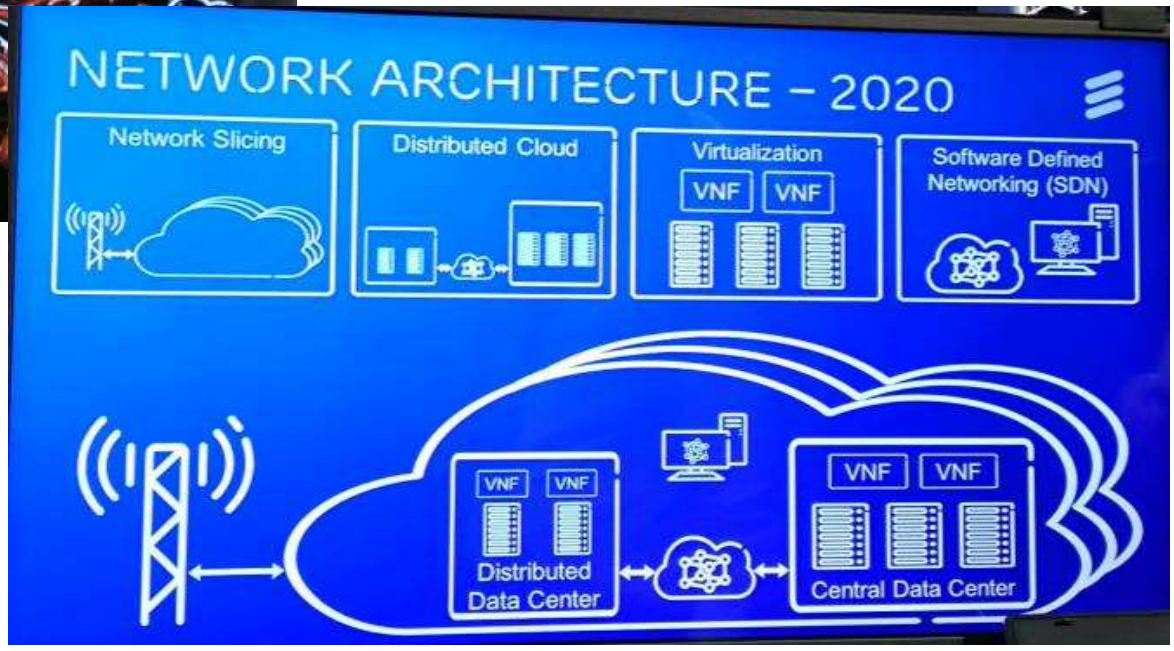
モバイル通信の世代	1G	2G (Kbps)	3G (Mbps)	4G/LTE (100Mbps)	**5G (Gbps)**
主な方向感	アナログ	デジタル化	データ通信対応	オールIP化	**IoT対応**
ユースケース	音声通話	音声通話 SMS	モバイル・インターネット「iモード」	モバイル・インターネット「スマホ」	**多様な用途「スマホ以外」**
新たなプレイヤ		グローバル・キャリア	コンテンツ・プロバイダ	OTTプレイヤ、海外スマホメーカ	**IT業界異業種連携**
日本での展開時期（およそ）	～90年代前半	90年代後半～	2000年代	2010年代	**2020年代**

InfoCom Research, Inc.

エリクソン

■ 5G時代「１つの網でいくつもの産業用途に対応」・・・ネットワーク・スライシング、SDN/NFV など

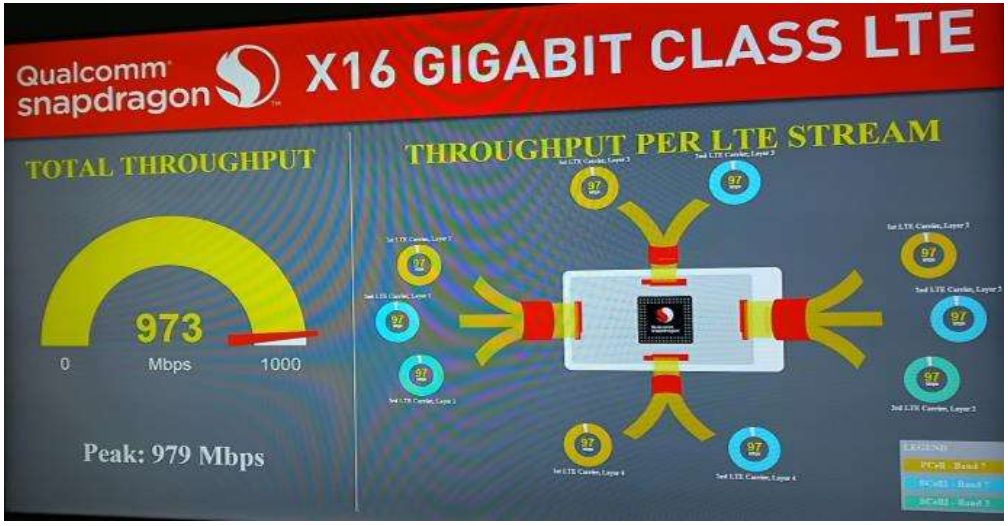


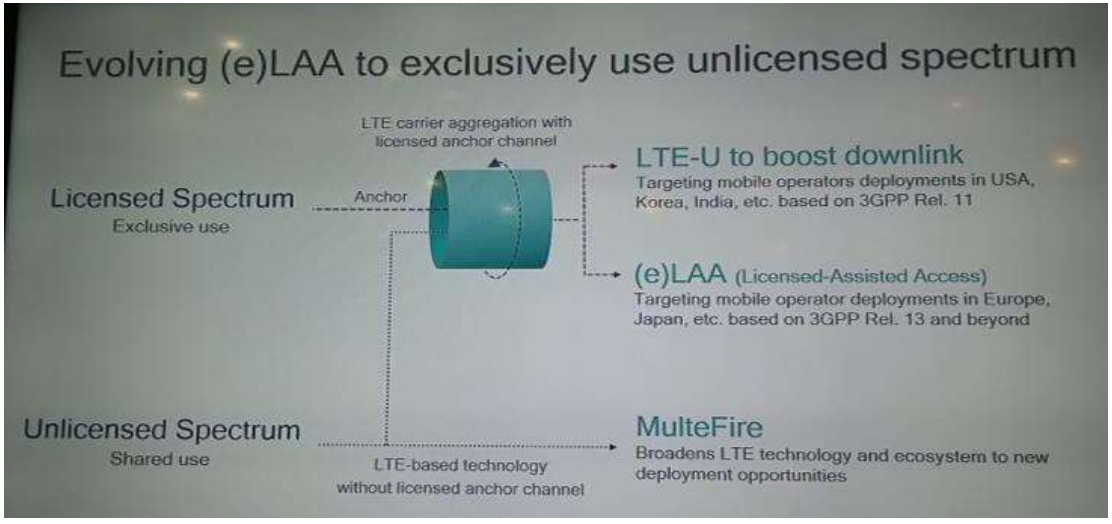


（情総研撮影）

クアルコム

■ LTEを多方面に進化・・・免許不要帯域、上り高速化、省電力IoT対応、広帯域化など

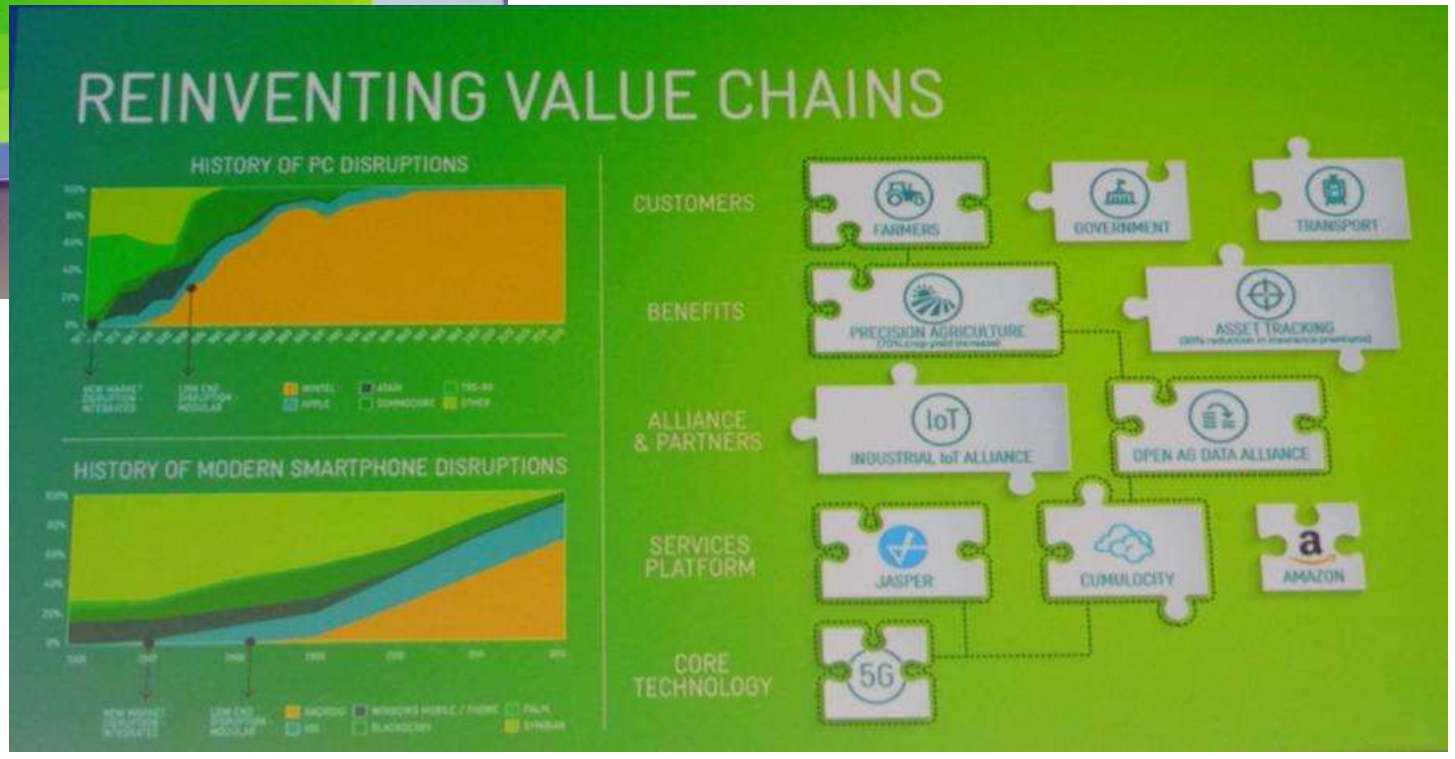




（情総研撮影）

テルストラ（豪）

■ 5G時代、バリューチェーンを作り直す必要性



（情総研撮影）

LPWA（1）

■ IoT向けネットワークとしてLPWA（Low Power Wide Area）に注目

Sigfox

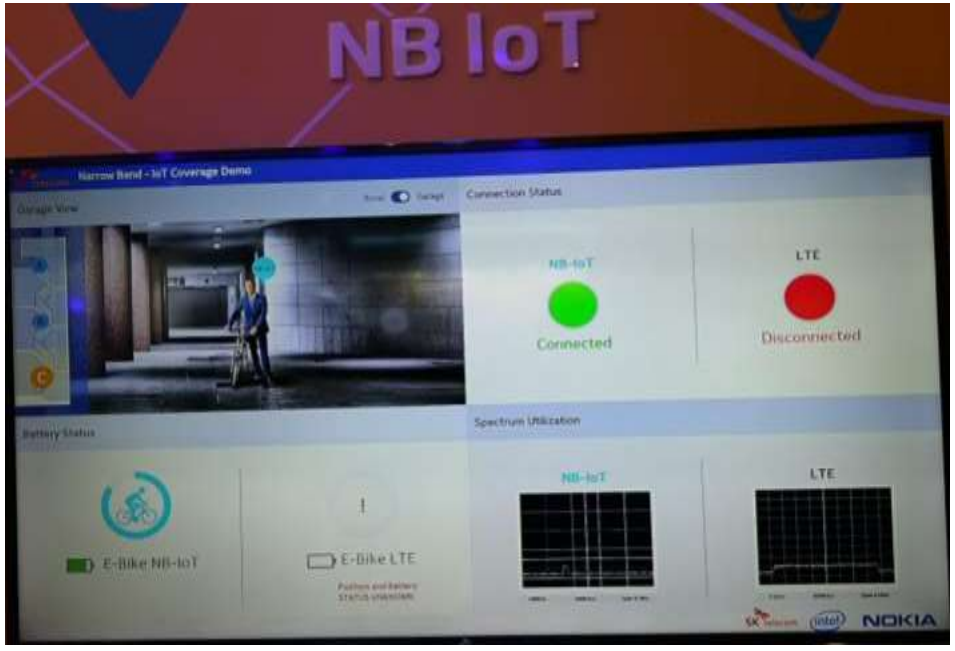
LoRa

（情総研撮影）

LPWA（2）

■ IoT向けネットワークとしてLPWA（Low Power Wide Area）に注目：2種類手掛ける韓SKT

NB-IoT



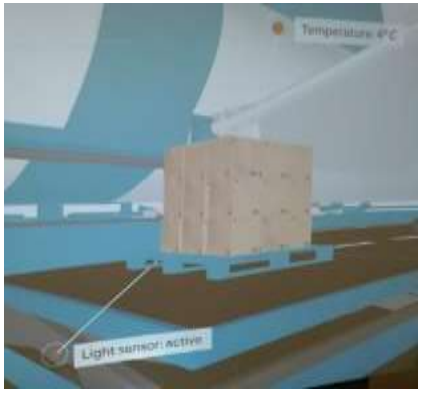
LoRa

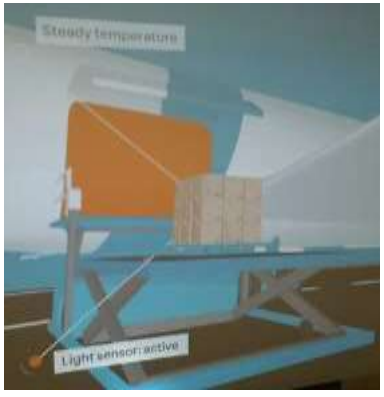
（情総研撮影）

IoTユースケース（１）

■ IoTユースケース：物流（AT&T）

AT&T





（情総研撮影）

IoTユースケース（２）

■ IoTユースケース：トラック輸送（Ericsson）

Ericsson × SCANIA

- 車車間通信による隊列走行のための4G・5G網活用を共同研究
- トラック間の距離を詰めて走行することで、燃費向上とCO2排出量削減に寄与する

（情総研撮影）

IoTユースケース（３）

■ IoTユースケース：駐車場（Deutsche Telekom）

Deutsche Telekom × Huawei

（情総研撮影）

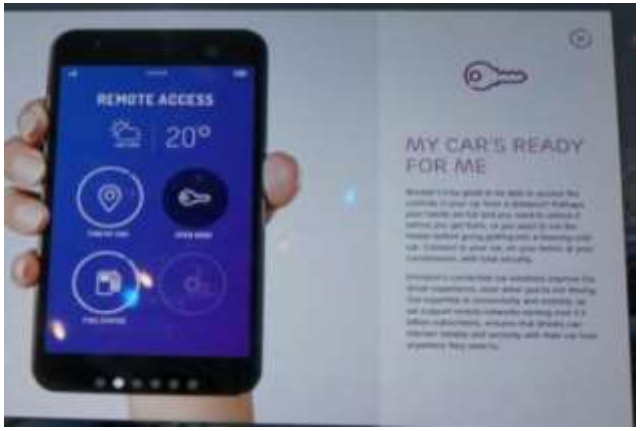
その他

- デバイスの展示は、VRの体験型展示にシフト
- ドローン、クルマなども含め、CESと似た領域での展示が多くみられた

VR

ドローン

クルマ



（情総研撮影）

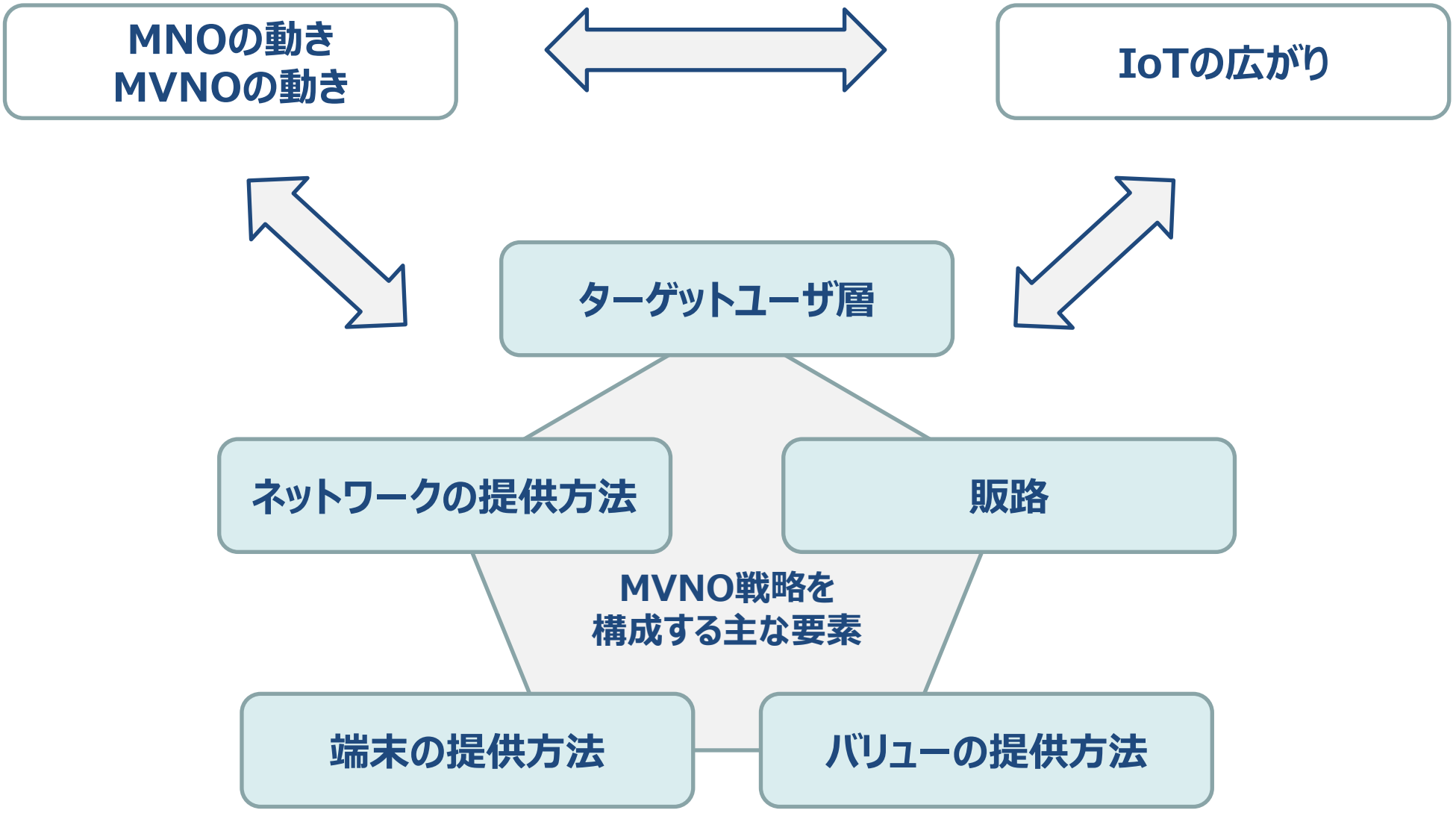
（１）海外MVNO動向

（２）MWCに見る海外動向

（３）国内MVNO市場の今後

InfoCom Research, Inc.

国内MVNO市場の今後・・・戦略構成要素と市場環境



InfoCom Research, Inc.

株式会社情報通信総合研究所
ICT基盤研究部　岸田　重行

〒103-0013
東京都中央区日本橋人形町2-14-10
アーバンネット日本橋ビル
　tel.03-3663-7152（部代表）
　fax.03-3663-7290